

米軍岩国基地における空母艦載機着陸訓練に関する要請書

第5空母航空団による空母艦載機着陸訓練（FCLP）が岩国基地で実施されることに対し、基地周辺自治体が反対の意を示しているにもかかわらず、当初の予定どおり9月17日から開始されている。

本訓練が始まってからは、複数の機体が代わる代わる上空を旋回し、昼夜を問わず騒音が鳴り響く状態が続いており、市民は強い不安のなかで我慢と負担を強いられている。

こうしたなか、9月23日の祝日に訓練が実施されたことが確認された。また、平日においても計画時間を無視した運用が常態化している。

岩国基地における本訓練の実施については、現時点においても決して容認されるものではなく、まして当初計画を無視した運用は、「基地周辺住民への影響を最小限に」また、「安全に最大限配慮して行う」との姿勢を根底から覆す行為である。

ついでには、このたびの岩国基地における訓練を、少なくとも当初の計画の範囲内で実施し、誠意ある運用を行うよう強く求めるとともに、二度と岩国基地において空母艦載機着陸訓練を実施することがないよう、また代替施設に指定することがないよう、別添要請書のとおり、米側に求めているといたしたく要請します。

令和7年9月25日

防衛大臣 中 谷 元 様

広島県 大竹市長 入山 欣郎